

大井町男女共同参画プラン（第3次）（素案）に対する意見募集（パブリックコメント）の実施結果

1. 意見募集の概要

大井町男女共同参画プラン（第3次）（素案）について、以下のとおり意見募集（パブリックコメント）を実施しました。

2. 意見募集の方法

募集期間：令和4年2月1日（火）から2月14日（月）まで

提出方法：電子メール、郵送、ファクシミリ、協働推進課へ直接持参

提出者数：1名

提出意見数：9件

3. 御意見の概要及び御意見に対する考え方

| No. | 該当箇所 | 御意見の概要 | 御意見に対する考え方 |
|-----|---|--|---|
| 1 | 町の審議会等委員への女性の積極的な登用 (9ページ) | 公募による委員も増やすことで女性の人数も増えるのではないだろうか。同一人物がいくつもの委員を兼任することはマンネリ化の原因となるため、当て職での選出をできるだけ避ける。様々な分野で活動する女性が多いのに実際には行政寄りの人が選ばれているようだ。多様な意見を持つ人が議論することでよりよい内容の施策も生まれるのではないだろうか。 | 御意見ありがとうございます。 いただいた御意見は、今後の施策の参考にさせていただきます。 |
| 2 | 管理職研修の実施 (9ページ) | 管理職の中には古い考え方を持つ人も多く、SDG s が何たるかも理解していない例もある。管理職のみならず職員研修は必須だと思う。 一般企業ではジェンダー問題や、様々なハラスメントの研修がなされているが大井町役場ではどうだろうか。 窓口対応時、すべて公平になされているか自己チェック等するのはどうか。先進的自治体や企業の事例も研究することが必要だと思う。 | |
| 3 | 人材育成講座の開催及び図書の実践 (11ページ) | 人材育成のための図書だけでなく起業のための図書もできるだけそろえてほしい。また、神奈川県が主催するような女性起業家の講演会や研修会も開催する。 | |
| 4 | 地域活動における男女共同参画の促進 (13～14ページ) | 自治会、PTA活動等地域活動の中でもジェンダーを意識し、固定的な役割分担はしない。接待、台所仕事は女性というような古い体質が自治会離れの原因かもしれない。 防災については様々な面で女性の視点が必要だといわれている。避難所運営、平常時の啓発活動は女性の感性がもっと発揮されるような仕組みづくりが必要だと思う。 | |
| 5 | 介護を社会で支える環境づくり (19ページ) | 要介護者が今後増えると予測されるが介護は女性がする仕事という観念は捨てねばならない。男性も介護研修を積極的に受け、男女ともに高齢化社会を担っていかねば介護の問題は解決しないと思われる。介護の出前講座は今後活発に利用されることが望まれる。学校教育の中でも施設で介護体験をするカリキュラムも必要かもしれない。 | |
| 6 | 家事・育児・介護への男女共同参画の推進 (20ページ) | 子育て体験学習も学校教育の中に組み込み男女ともに育児にかかわる習慣を身につける。ボランティア活動でも子育て関係の体験ができるような仕組みをつくる。 男性の育児・家事行動の現状は非常に低く、男女共同参画の推進は男性の意識改革にかかっている。アンコンシャスバイアスに早く気づき改めることが必要である。 | |
| 7 | 異性に対する暴力を根絶するための啓発 (21ページ) | 異性に対するあらゆる暴力は、弱者を見下すという習性からきている。人権教育や差別についての意識教育を小さい頃から身につけることが大切ではないだろうか。 | |
| 8 | リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する意識啓発 (22ページ) | リプロダクティブ・ヘルス/ライツは女性の健康（妊娠・出産・育児）すべてに関連し、心身の微妙な変化を理解することが大切である。大井町は妊娠、出産、育児の教室が開かれているが平日開催のため父親となる人が参加しにくい。土日にも開催できる方法も検討する。 | |
| 9 | 町政における男女共同参画の視点に立った施策・事業の見直し (26ページ) | 男女共同参画社会の意識づくりは町の事業がこの考え方に即しているか、点検してみることも重要だと思う。さらに今後男女共同参画の啓発をどのようにするか住民からアイデアを募集する等あらゆる手段で実施してほしい。 | |

※大井町男女共同参画プラン（第3次）（素案）における該当箇所については、御意見の内容に応じて記載しています。